

みやぎNPO夢ファンド 平成16年度 事業実施状況報告書

平成16年4月1日 ~ 平成17年3月31日

みやぎNPO夢ファンド 事務局

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

代表理事・常務理事 加藤哲夫

みやぎNPO夢ファンドの運営に関わる協定書（平成16年2月12日締結）第16条の定めにより、平成16年度中のみやぎNPO夢ファンド（以下、ファンド）の事業実施状況について、以下の通り報告する。

目 次

1．運用委員会の開催	1
2．平成16年度助成事業の実施	2
2-1 書類審査、公開コンペの実施	
人材育成支援プログラム	
ステップアップ支援プログラム	
スタートアップ支援プログラム	
2-2 助成事業報告会の実施	
2-3 ステップアップ支援プログラム助成継続審査の実施	
2-4 助成事業最終報告書の提出	
2-5 助成金の精算	
3．寄付金の募集	6
4．平成17年度助成事業の実施	7
4-1 助成プログラムの決定	
4-2 助成対象事業の募集	
4-3 応募相談会の開催	
4-4 ステップアップ支援プログラム 書類審査の実施	
5．ファンド ロゴマークの募集	8
6．添付資料一覧	9
7．収支計算書、財産目録（略）	

1. 運用委員会の開催

「みやぎNPO夢ファンド設置規程」および「みやぎNPO夢ファンド運用委員会運営要綱」の定めによりファンドの適切な運営を図るため、以下の9名からなる運用委員会を3回開催した。

< 運用委員名簿（敬称略） >

学識経験者	山田 晴義	宮城大学事業構想学部教授	委員長
	江尻 行男	東北福祉大学教授	
NPO関係者	大久保 朝江	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる代表理事	副委員長
	兵藤 博行	高清水ソフトウェアカンパニー代表	
	中村 祥子	特定非営利活動法人グループゆう代表理事	
	木村 孝	特定非営利活動法人不忘アザレア常任理事兼事務局長	
企業関係者	間庭 洋	仙台商工会議所常務理事兼事務局長	
	佐々木 武夫	エースシステム株式会社代表取締役	
宮城県	渡邊 光子	宮城県環境生活部次長	

表1 平成16年度みやぎNPO夢ファンド運用委員会 開催状況

	日時	会場	内容
第1回	平成16年 5月8日(土) 12:30~17:30	みやぎNPOプラザ 会議室、交流サロン プラザ3階 生涯学 習会議室	報告・審議事項 書類審査の結果確認 寄附の状況、寄付金受入内規について 等 人材育成支援・ステップアップ支援両プログラムについて、第2次審査を行い、助成先を決定した。
第2回	平成16年 5月15日(土) 12:30~17:00	みやぎNPOプラザ 会議室、交流サロン プラザ3階 生涯学 習会議室	報告・審議事項 書類審査の結果確認 平成15年度監査について 匿名寄附の扱いについて 等 スタートアップ支援プログラムの第2次審査を行い、助成先を決定した。
第3回	平成17年 1月15日(土) 13:00~20:00	みやぎNPOプラザ 交流サロン、会議室	報告・審議事項 ステップアップ支援プログラムの継続 審査基準について 平成17年度助成事業について 等 平成16年度助成事業の中間報告会とあわせて実施。ステップアップ支援プログラムの継続可否について審査を行った。 また、平成17年度助成事業について検討を行い、原案通り承認した。

2. 平成 16 年度助成事業の実施

2 - 1 書類審査、公開コンペの実施

募集要項に基づき、平成 16 年 3 月 20 日（土）～ 4 月 8 日（木）の間、助成事業の募集を行ったところ、応募状況は下表のようになった。各プログラムについて以下の通り審査を行い、助成事業を決定した。

表 2 みやぎ N P O 夢ファンド 平成 16 年度助成事業 応募状況

	助成枠	応募数	倍率	応募総額
(1)人材育成支援プログラム	6 団体	9 件	1 . 5 倍	¥1,260,000
(2)ステップアップ支援プログラム	2 団体	1 6 件	8 倍	¥16,000,000
(3)スタートアップ支援プログラム	8 団体	1 4 件	1 . 7 倍	¥2,448,000
	計	3 9 件	-	¥19,708,000

人材育成支援プログラム

応募 9 事業について、審査基準に基づき運用委員による書類審査を行ったところ、すべての事業が 6 割の基準点をクリアし、第 2 次審査へ進出となった。

5 月 8 日（土）開催の第 2 次審査では、審査辞退した 1 事業を除く 8 事業について、公開コンペ方式で審査を行った（会場：みやぎ N P O プラザ交流サロン）。その結果、6 事業が 6 割の基準点（120 点）をクリアし、第 2 次審査合格となった。

審査結果の詳細は、以下の URL に掲載した。

書類審査 <http://www.minmin.org/fund/miyagi/syoruituuka2004.htm>

公開コンペ http://www.minmin.org/fund/miyagi/compe2004_01.htm

合格した事業のうち 1 つについては後日助成辞退の申し出があったためそれを認め、最終的には、以下の 5 事業に対して、助成が行われた。

表 3 人材育成支援プログラム 平成 16 年度助成事業一覧

団体名（得点順）	応募事業名	第 2 次審査 得点	助成額
特定非営利活動法人 グループゆう	ハンディキャップを持つ子どもと 楽しく遊ぶサポーターを育てよう	1 5 7	1 5 万円
東北 H I V コミュニケーショ ンズ(THC)	エイズ電話相談対応力強化研修事 業	1 5 2	1 5 万円
特定非営利活動法人 宮城県断酒会	自助グループのための組織運営研 修事業	1 3 6	1 5 万円
特定非営利活動法人 あかねグループ	福祉 N P O レベルアップ研修	1 3 2	1 2 万円
せんだい社の子ども劇場 2 1	想いを実現するために	1 2 3	1 5 万円

ステップアップ支援プログラム

応募 16 事業について、審査基準に基づき運用委員による書類審査を行ったところ、6 割の基準点をクリアしたのは 13 事業であった。審査基準の定めにより、このうち上位 4 事業が第 2 次審査へ進出となった。

5 月 8 日（土）開催の第 2 次審査では、4 事業について、公開コンペ方式で審査を行った（会場：みやぎ NPO プラザ交流サロン）。その結果、得点上位の以下の 2 事業が、助成対象事業となった。

審査結果の詳細は、以下の URL に掲載した。

書類審査 <http://www.minmin.org/fund/miyagi/syoruituuka2004.htm>

公開コンペ http://www.minmin.org/fund/miyagi/compe2004_01.htm

表 4 ステップアップ支援プログラム 平成 16 年度助成事業一覧

団体名（得点順）	応募事業名	第 2 次審査 得点	助成額
特定非営利活動法人 仙台夜まわりグループ	ホームレス・生活困窮者への 就労・起業支援事業	169	100万円
子ども虐待防止ネットワーク・み やぎ（キャブネット・みやぎ）	子どもの虐待対応ワークシ ョップ 県内キャラバン	159	100万円

スタートアップ支援プログラム

応募 14 事業について、審査基準に基づき運用委員による書類審査を行ったところ、11 事業が 6 割の基準点をクリアし、第 2 次審査へ進出となった。

5 月 15 日（土）開催の第 2 次審査では、審査辞退した 1 事業を除く 10 事業について、公開コンペ方式で審査を行った（会場：みやぎ NPO プラザ交流サロン）。その結果、6 事業が 6 割の基準点（90 点）をクリアし、助成対象事業となった。



審査結果の詳細は、以下の URL に掲載した。

書類審査 <http://www.minmin.org/fund/miyagi/syoruituuka2004.htm>

公開コンペ http://www.minmin.org/fund/miyagi/compe2004_02.htm

表5 スタートアップ支援プログラム 平成16年度助成事業一覧

団体名(得点順)	応募事業名	第2次審査 得点	助成額
親子関係を考える会	「非行少年」親のグループケア	126	15万円
水魚方式研究会	伊豆沼バス・バスターズ大作戦 支援バード大作戦	111	16万円
シナイモツゴ郷の会 (注1)	NPO法人設立シンポジウム「生態系保全とブラックバス対策」	111	20万円
NPOパソコンママネット (注1)	テレビゲームやパソコンと子どもがよりよく付き合うためのアンケート調査と講習会	104	15.8万円 (注2)
特定非営利活動法人 シャロームの会	NPO法人シャロームの会 設立記念講演会並びに交流会	92	20万円
片平たてもの応援団	(仮)片平地区まちづくりシンポジウム開催事業	91	15万円

(注1)「シナイモツゴ郷の会」と「NPOパソコンママネット」については、助成期間内に法人格を取得、それぞれ「特定非営利活動法人シナイモツゴ郷の会」「特定非営利活動法人パソコンママネット」となった。

(注2)最終精算では、助成額は12万円となった。2-5節参照。

一連の審査の結果、最終的に3プログラム合計で、13団体へ総額373.8万円の助成が行われることとなった。

2-2 助成事業報告会の実施

助成事業の進行状況を把握し、またその成果について広く社会に情報発信することを目的に、平成17年1月15日(土)に助成事業報告会を開催した(会場:みやぎNPOプラザ交流サロン)。当日は助成を受けたすべての団体が参加し、助成事業の内容や成果についてのプレゼンテーションを行った。

当日の様子は、以下のURLに掲載した。

<http://www.minmin.org/fund/miyagi/houkoku2004.htm>



また、この報告会に向けて、各団体から助成事業中間報告書(すでに事業が終了している団体については最終報告書)の提出が行われた。

2 - 3 ステップアップ支援プログラム助成継続審査の実施

助成事業中間報告書および中間報告会でのプレゼンテーションの内容を受けて、第3回運用委員会場でステップアップ支援プログラムの助成事業（2事業）の継続可否についての審査が行われた。審査方法は、運用委員の協議の結果、以下の通りとした。

- (1) 以下の各点に留意し、助成継続の可否を各運用委員が判断する。
 - ・助成事業が、当初の計画通り進捗しているか。
 - ・成果目標が達成されているか。
 - ・もし計画通り行っていない場合には、適切な理由・背景があるか。また適切な計画の見直しを行っているか。
 - ・2年目以降の事業計画について、明確なビジョンが示されているか。
 - ・社会環境やニーズの変化により、事業の必要性が失われていないか。
- (2) 運用委員の投票により、助成継続の可否を決する。可否同数の場合は、委員の協議により決する。

当日出席した運用委員6名で投票を行った結果、以下の通りとなった。

表6 ステップアップ支援プログラム 助成継続可否の投票結果

団体名	助成継続可	助成継続否	結果
特定非営利活動法人 仙台夜まわりグループ	6	0	継続可
子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ (キャプネット・みやぎ)	3	3	協議へ

投票結果を受けて、可否同数の企画について協議を行った結果、以下の3点について団体からヒアリングを行い、その結果を受けて再度検討することとなった。

- ・次年度の事業（県内キャラバン）について、関係先（行政など）との交渉がどの程度進んでいるか。
- ・次年度事業の詳しい内容について。
- ・事業実施の体制について。

後日、事務局から団体宛に、上記3点について照会したところ、1月21日付で団体から回答書が提出された。回答書を踏まえて、各運用委員が再度検討した結果、全員一致で助成継続となった。

2 - 4 助成事業最終報告書の提出

平成17年3月末の助成期間終了を受けて、助成対象団体から、助成事業最終報告書の提出が行われた。

提出された報告書は、ファンド事務局などで閲覧可能な状態とするとともに、ファン

ドのホームページでも公開を行い、広く一般にファンドの成果について情報提供を行った。

報告書掲載ページ <http://www.minmin.org/fund/miyagi/report2004.htm>

2 - 5 助成金の精算

助成先からの最終報告を受けて、助成金の精算を実施した。助成 13 団体のうち、12 団体については、当初予算通りの精算となった。残り 1 団体（特定非営利活動法人パソコンママネット）については、事業規模の縮小により助成額が減額となった（当初額 15.8 万円 確定額 12 万円）。それに伴って、平成 16 年度の助成実績は以下の通りとなった。

表 7 みやぎ N P O 夢ファンド 平成 16 年度助成実績

プログラム	助成団体数	助成総額
(1)人材育成支援プログラム	5 団体	¥720,000-
(2)ステップアップ支援プログラム	2 団体	¥2,000,000-
(3)スタートアップ支援プログラム	6 団体	¥980,000-
計	13 団体	¥3,700,000-

3 . 寄附金の募集

ファンドへの寄附受入については、前年度に引き続き告知チラシによる広報を行った他、ファンドホームページでの寄附募集や、せんだい・みやぎ N P O センターが平成 16 年 11 月に展開したキャンペーン「せんだい C A R E S 2 0 0 4」のパンフレット内での紹介を行うなど広報に努めた。

年度内に、4 件、6 7 1 , 2 3 2 円の寄附金をいただいた。これらの寄付金は、前年度いただいた 7 5 万円と合わせて、平成 17 年度助成事業の原資とした。

<平成 16 年度中に寄附をいただいた皆様>

- ・宮城県環境生活部職員有志様
- ・お祭りくらぶ様
- ・匿名希望（2 件）

4. 平成 17 年度助成事業の実施

4 - 1 助成プログラムの決定

第 3 回運用委員会の議論を受けて、平成 17 年度助成事業の助成プログラムについて、以下の通り決定した。プログラムの大枠は前年度を継承した上で、助成規模の拡大に伴い、助成枠の見直しを行った。また、平成 16 年度の審査結果を分析した上で、より適切な審査が行われるように、助成審査基準を一部改定した。

表 8 みやぎ N P O 夢ファンド 平成 17 年度助成プログラム

プログラム	助成枠	助成額	助成総額 (最大)
(1)人材育成支援プログラム	9 団体程度	1 0 ~ 1 5 万円	1 3 5 万円
(2)ステップアップ支援プログラム	3 団体 (注 1)	1 0 0 万円	3 0 0 万円
(3)スタートアップ支援プログラム	1 0 団体程度	1 5 ~ 2 0 万円	2 0 0 万円
計			6 3 5 万円

(注 1) うち 2 団体は、平成 16 年度からの継続。新規応募は 1 団体。

4 - 2 助成対象事業の募集

募集要項に沿って、以下の通り助成対象事業の募集を行った。

・応募受付期間

ステップアップ支援プログラム 平成 17 年 2 月 1 日 ~ 2 月 28 日

人材育成支援プログラム、スタートアップ支援プログラム

平成 17 年 2 月 1 日 ~ 4 月 18 日

<期間をずらしたねらい>

(1) 前年度に比べて全体の応募数が増え事務処理に手間取る可能性があるためと想定されたため。

(2) プログラム間の併願の形で応募の機会を増やすため。

・募集要項配布方法

(1) ホームページ (<http://www.minmin.org/fund/miyagi/>) からのダウンロード。

(2) 宮城県環境生活部 N P O 活動促進室、みやぎ N P O プラザ、および、せんだい・みやぎ N P O センター内等での配布。

(3) 問合せにより郵送による配布。

・告知方法

(1) 直接案内 (郵送、E-mail 等 1,000 ヶ所程度)

(2) 各種メディアへの掲載 (河北新報、ゆるる、みやぎ地域づくり団体機関誌)

(3) インターネットでの告知 (みやぎ N P O 情報ネット、シーズ等)

4 - 3 応募相談会の開催

応募要項に関する問い合わせや、申請書の記入方法等についての相談に対応するため、「応募相談会」を4回開催し、13団体からの相談を受けた（すべて、会場はせんだい・みやぎNPOセンター）。

相談会以外にも、随時問い合わせ・相談に対応した。相談日以外の相談は3件、問い合わせ（軽微なものを除く）は31件であった。

4 - 4 ステップアップ支援プログラム 書類審査の実施

新規助成枠1に対して、応募〆切までに10件の応募があった。この10事業について、平成17年3月中に、審査基準に基づき運用委員による書類審査を行ったところ、6割の基準点をクリアしたのは9事業となった。審査基準の定めにより、このうち上位4事業が第2次審査へ進出となった。

応募事業一覧 http://www.minmin.org/fund/miyagi/stepup_oubo2005.htm

書類審査結果 http://www.minmin.org/fund/miyagi/stepup_syorui2005.htm

5. ファンド ロゴマークの募集・選定

第3回運用委員会の場で、ファンドの周知を図り、寄附を促進するために、ファンドのロゴマークを公募により制定してはどうか、という意見が出たのを受け、以下の流れで募集・選定した。

2月上旬～3月末 ロゴマーク（案）公募

ファンドのホームページにて告知を行った他、「公募ガイド誌4月号（3月8日発売）」や各種ウェブサイト等に掲載し、広く周知を行った。

告知ページ <http://www.minmin.org/fund/miyagi/logobosyu2005.htm>

3月末 応募〆切 応募総数31点。

4月9日 平成17年度第1回運用委員会にて募集状況報告

みやぎNPOプラザにて、応募作品を展示し、来館した市民から投票を募ることとした。

選定は、市民票と、運用委員票（各委員10票の投票権）の合計数で行うこととした。

市民投票の様子 <http://www.minmin.org/fund/miyagi/logotouhyou2005.htm>

5月15日 平成17年度第3回運用委員会にて投票状況報告

投票総数168票のうち、最多投票（19票）を得た右の作品（奥野和夫さん（神奈川県横須賀市）による）を、ロゴマークと決定した。



6. 添付資料一覧

- (1) 平成16年度 助成事業報告書(各団体から)
- (2) 運用委員会資料
- (3) 平成16年度 助成審査資料
- (4) 平成16年度 事業報告会資料(中間報告書)
- (5) 平成16年度 ステップアップ支援プログラム 継続審査資料
- (6) 寄付金募集関連資料
- (7) 平成17年度 助成金募集要項
- (8) 平成17年度 ステップアップ支援プログラム 書類審査資料
- (9) ロゴマーク募集関連資料
- (10) 報道資料など

平成16年4月3日

河北新報「NPO活動助成 希望団体を募集 県・8日まで」
杜の伝言板ゆるる 2005年2月号

「みやぎNPO夢ファンド 平成17年度 助成事業募集」
シーズ=市民活動を支える制度をつくる会 ホームページ (助成金情報)
平成17年2月20日 河北新報 県からのお知らせ (助成金情報)

みやぎ地域づくり団体協議会 機関誌「ニュー・LEAD」
平成17年3月号 (助成金情報)

みやぎ地域づくり団体競技会仙台支部情報誌「ネットワーク仙台」
平成17年3月号 (助成金情報)

平成17年3月20日

河北新報「NPO支援基金の助成金希望団体募集」

7. 収支計算書、財産目録

(略)

詳細は、みやぎNPO夢ファンド 事務局までお問い合わせください。

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター内 みやぎNPO夢ファンド事務局

〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町 2-6-27 岡元ビル4F

電話 022-264-1281 FAX 022-264-1209

メール minmin@minmin.org URL <http://www.minmin.org/>